

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】令和5年8月22日(2023.8.22)

【公開番号】特開2022-44922(P2022-44922A)

【公開日】令和4年3月18日(2022.3.18)

【年通号数】公開公報(特許)2022-049

【出願番号】特願2020-150312(P2020-150312)

【国際特許分類】

H 02 K 7/10(2006.01)

10

F 16 H 41/24(2006.01)

B 60 K 17/04(2006.01)

F 16 H 45/02(2006.01)

F 16 F 15/134(2006.01)

B 60 K 6/26(2007.10)

B 60 K 6/40(2007.10)

B 60 K 6/36(2007.10)

【F I】

H 02 K 7/10 Z

20

F 16 H 41/24 A

B 60 K 17/04 G

F 16 H 45/02 X

F 16 F 15/134 A

B 60 K 6/26 Z H V

B 60 K 6/40

B 60 K 6/36

【手続補正書】

【提出日】令和5年8月10日(2023.8.10)

【手続補正1】

30

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項9】

前記ダンパ装置は、

エンジンのクランクシャフトに取り付けられる入力プレートと、

前記伝達シャフトへトルクを出力する出力部材と、

前記出力部材と前記入力プレートとを弾性的に連結する弹性部材と、  
を有する、

40

請求項2に記載の駆動装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0036】

第2ワンウェイクラッチ24dは、ステータシェル24aの内周端部に取り付けられる。また、第2ワンウェイクラッチ24dは、筒状の固定シャフト102に支持されている。固定シャフト102は伝達シャフト4の外周面とタービンハブ22cの内周面との間を

50

延びている。固定シャフト 102 は、回転不能に配置されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0063

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0063】

リティニングプレート 53 は、出力部材 52 と一体的に回転するように構成されている。  
。例えば、リティニングプレート 53 は、リベット（図示省略）などによって、出力プレート 521 に取り付けられている。リティニングプレート 53 と出力プレート 521 との  
間には、入力プレート 51 が配置されている。 10

20

30

40

50